



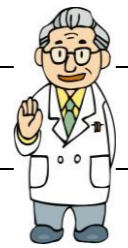


婦人科手術を受けられる患者様へ ()様 主治医()医師 説明担当看護師()







		準備	手術1日前	当日 術前	当日 術後	手術後 (急性期) 術後1日目
達成目標	<p><持ち物></p> <p>直後パット 1セット ナプキン数個 腹帯 2枚 前開きのネグリジェ又は和式の寝間着</p> <p>バスタオル2枚 (白に近い出来るだけ無地の物)</p> <p>お茶やお水のペットボトル それに使用する曲がるストロー 又は吸飲み</p> <p>普段使用されている薬 (1日分) お薬手帳</p>	治療・副作用について理解できる。 心も身体も問題なく手術に臨むことができる。		痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 全身の状態が安定している。 創からの出血がない。 手術の合併症がない。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。	全身の状態が安定している。 手術後の合併症がない。 創からの出血がない。 皮下に入っている管が抜ける。 尿の管が抜け尿が出る。 排ガスがある。 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。	
薬剤		寝る前に下剤を内服します。		痛み止めの薬(座薬・注射など)など症状にあわせて使います。	吐き気止めの内服薬 痛み止め(とんぶく・注射) 毎食後痛み止めの内服薬があります	
注射・点滴			朝9時ごろより点滴が始まります。 手術の翌朝まで点滴は続きます。	持続で痛み止めの薬が1~2日後まで入ります。	朝と夕に点滴があります。	
処置		陰部の毛を剃ります。 	朝に浣腸を行います。 便が出たかお知らせください。	酸素マスクをつけてベッド上で過ごします。	回診で全身の状態や創部の診察をします。	
検査		超音波検査・内診をします。		蓄尿開始。退院まで蓄尿をします。		
安静度		手術当日、術前までは病棟内は自由です。		ベッド上で横になったまま安静に過ごします。(寝返りは可能です。) 朝6時まで両足にフットポンプが付きます。	座ったり、ベッドの横に立つことができます。 医師の許可があれば室内を歩けます。	
食事/水分		普通食です。 絶食の時間を別紙にてお知らせします。	絶飲食です。		朝より飲水可能になります。 昼より五分粥の食事が開始となります。	
留置物			朝9時ごろの点滴の開始時に、 点滴の針を入れます。 (手は動かさず)	膀胱留置カテーテル(尿の管です) 腹腔ドレーン(お腹の中に入っている管です) 皮下ドレーン(皮下に入っている管です) 点滴の針が入っています。	膀胱留置カテーテル(医師の指示があれば抜けます。) 腹腔ドレーン 皮下ドレーン	
清潔		シャワーに入っただけです。			腹腔ドレーンが抜けるまでは週3回お体を拭きます。 洗髪は週2回、足浴は週1回になります。 膀胱留置カテーテルが抜けるまで陰部を毎日洗浄します。	
観察		体重・検温を行います。	手術前に検温を行います。 	心電図モニター・SpO2モニター(酸素の状態を測るもの)をつけます。 傷の状態や全身の状態を観察します。	排ガス・排便・全身の状態の観察をします。(退院まで)	
指導	栄養指導 服薬指導	薬剤師より服薬指導があります。				
教育・説明	看護師より入院生活についての説明があります。	手術当日は、手術予定1時間前にご家族の来院をお願いします。 術後、医師よりご家族に手術の説明があります。ご家族の方は必ず病棟内でお待ちください。				
書類	同意書を提出してください。 入院治療計画書をお渡しします。					

上記の内容は個々の状態に応じて内容が異なります。ご了承ください。

尚、ご不明な点がありましたら看護師にお尋ねください。

入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリは検査や処置時は取り外しをお願いします。

また、入院中のお化粧もお控えください。(顔色観察のため)

	手術後（回復期）		手術後（回復期）	手術後（回復期～退院準備期）	退院
	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目～13日目ごろ	術後14日目ごろ
達成目標	痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分の事は自分で行う事ができる。 下半身のシャワー浴ができる。 排便がある。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。		痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分の事が自分で行う事ができる。 自分のことが自分で行うことができる。 下半身のシャワーができる。 排便がある。 創の感染がなく状態が良好である。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。	痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分の事が自分で行う事ができる。 全身のシャワー浴ができる。 排便がある。 創の感染がなく状態が良好である。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。	創の状態が良好に保てている。
薬剤	吐き気止めの内服薬 痛み止め（とんぶく・注射） 毎食後痛み止めの内服があります				
注射・点滴	朝と夕に点滴があります。				
処置				抜鉤（創を止めているホッチキスを取ります） 創部ケアを行います。	退院診察・創部ケア行います。
検査				採血と尿検査があります。 	超音波検査・内診があります。
安静度	病棟内自由です。				
食事/水分	普通食になります。				
留置物	膀胱留置カテーテル （医師の指示があれば抜けます） 腹腔ドレーン			腹腔ドレーンを抜きます。	
清潔				腹腔ドレーンが抜ければ、翌日より医師の許可のもとシャワーが可能になります。 	
観察			排ガス・排便・全身の状態（退院まで）		
栄養指導	食事についてお困り毎がありましたら、スタッフ又は管理栄養士にご相談ください。				
服薬指導					
教育・説明					外来予約票をお渡しします。
書類					